



社員・シャインな職場訪問記④



日本最大手の旅行会社である株式会社JTB。「余暇を楽しむ」ことを牽引してきた企業とあって、社員に向けても長期休暇の取得など、ワークライフバランスに配慮した制度が充実しています。

「奈良県社員・シャイン職場づくり推進企業」として総合表彰された奈良支店の北野りか業務課長と観光開発プロデューサーの森田実氏にお話をうかがいました。



株式会社JTB 奈良支店

事業内容：法人(教育)旅行営業、イベント・コンベンション事業、インバウンド営業、地域振興支援事業、個人・グループ旅行営業など

所在地：奈良市大宮町3-4-29 大宮西田ビル7階

TEL：0742-30-5100

URL：<https://www.jtbcorp.jp/>

勤務時間を15分刻みで短縮も 20年以上前からの子育て支援

全社的に女性社員の多い当社では、結婚し、出産した後も働き続けられるよう「短時間勤務制度」を設け、「家庭と仕事の両立」を支援しています。

具体的には、小学3年生までの子どもがいる社員は、1日3時間を上限として、15分単位で勤務時間を短縮することができます。すでに20年以上前から導入されている制度であり、日常的に社員が活用しています。

連続長期休暇の取得を義務付けて ワーク・ライフ・バランスを推進

長期休暇として1年に1度、社員は5日間(管理監督者は8日間)の連続した休暇の取得を義務付けています。土日をからめると連続9日間にもなり、ヨーロッパ旅行も可能な日数です。これとは別に、年間20日間の年次有給休暇は、その年に取得できなかった日数は翌年に繰り越しが可能です。さらに勤続15年、20年、25年の社員には、連続10日間のリフレッシュ休暇の取得または旅行券10万円の受給を選択できます。

こうした長期休暇は、本人のリフレッシュはもちろん、自ら旅行や観光を体験することが仕事の

上でもプラスになるため、長期休暇を取得することへの理解が社内で十分に浸透しており、率先して休暇を取得することが可能です。

フリーアドレス制度や在宅勤務の 積極的な活用で「働き方改革」

奈良支店では、3年前の事務所の移転と同時に、固定席を設けず、空いている席を自由に選ぶ「フリーアドレス」を導入しました。オフィスは、4人掛けの丸テーブルがレイアウトされており、グループでミーティングするときもリーダーが全員の顔をよく見渡せるので好評です。もちろん、別グループのメンバーと隣り合って座ることもあり、グループを超えてコミュニケーションが図れることで風通しの良い職場づくりを目指したものです。

また、このたびのコロナ禍にあって注目された在宅勤務ですが、JTBでは数年前から制度として導入していました。これまでは利用者も限られていたのですが、今回を機に抵抗感も払拭され、活用が進むものと期待しています。

「働きやすい職場づくり」の推進は、社員に長く安心してイキイキと働いてもらえるほか、求人の際の大きなアピールポイントにもなり、次代を担う人材の確保につながります。今後は介護支援など、さらなるボトムアップを図っていきたいと考えています。

